

第 35 回 日本医学哲学・倫理学会大会

大会テーマ

誕生と死との〈あいだ〉を生きる人間

プログラム

【目 次】

大会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
参加者・発表者・座長へのお願い・・・・・・・・	4
大会日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
特別講演：「こと」としての生と死」・・・・・・・・	10
シンポジウム：誕生と死との〈あいだ〉を生きる人間・・・・・・・・	11
研究発表要旨（1日目）・・・・・・・・・・	18
研究発表要旨（2日目）・・・・・・・・・・	41
ワークショップ要旨・・・・・・・・・・	47
会場案内・アクセス・・・・・・・・・・	48

大 会 長：丸橋 裕

実行委員長：檜 則章

実 行 委 員：江口 聡（京都女子大学） 大橋範子（大阪大学）
 西村高宏（福井大学） 服部俊子（大阪市立大学）
 福田正道（兵庫県立大学） 堀田義太郎（東京理科大学）
 森 芳周（阪南大学） 吉村 理津子（京都女子大学）
 坪井雅史（学会事務局長） 浅見昇吾（学会運営委員長）

会 場：

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号
兵庫県立大学明石看護キャンパス

会 期：

2016 年 11 月 5 日（土）9：45～17：15 （受付 9:00～ 開会式 9:40～）
11 月 6 日（日）9：00～17：00 （受付 8:30～ 閉会式 17:05～）

大会事務局：

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号
兵庫県立大学看護学部 丸橋研究室内
Tel：078-925-9411
E-mail：35itetsugakkai@gmail.com

学会ホームページ

<http://itetsu.jp/main/>

大会長挨拶

丸橋 裕（兵庫県立大学看護学部・教授）

現代において、医療技術の高度な発達をきっかけとして、死が社会的に問題となっています。出生前診断、安楽死・尊厳死の是非、周産期医療や終末期医療における諸問題などを例に挙げるまでもなく、私たちは生をうけたその瞬間から終末期に至るまで、いやおうなく死に向き合わされざるをえない状況に置かれています。ですが、私たちははたして、死に対してそれにふさわしい姿勢で向き合っていると言えるのでしょうか。もともと、近代の科学、自然科学的になった医学、そうした医学に依拠して自らの死に関わろうとする近代の人間は、死を根源的に問うことができません。近代の科学と人間のあり方との全体が、死を回避し、死を排除・抑圧し、さらには死を忘却しようとしていると言ってよいかもしれません。

ドイツの医者哲学者ヴィクトア・フォン・ヴァイツゼカー（1886－1957）は、生命をたんに生命として考えるのではなく、「生とは、誕生と死との両方のことである」という考えのもと、生の学問のなかに「主体」を導入するということを試みました。このような生命の思惟方法の根本的転換、生物学的医学に対して自ら生きて死ぬ「主体」を導き入れるという彼の基本姿勢ほど、現代の保健医療に求められるものではありません。その主著『ゲシュタルトクライス』公刊 75 周年を経て、彼が提唱した医学的人間学の継承と、その学がそこから生まれ育っていくべき人間学的な保健医療の理論と実践との必要性は、ますます高まっていると言うべきです。

日本医学哲学・倫理学会第 35 回大会では、こうしたヴァイツゼカーの基本姿勢に立ち返って、「誕生と死との〈あいだ〉を生きる人間」を大会テーマとして掲げることにしました。自ら病いや障害を抱えて生きている人、そうした病む人の近くにあって共に生きようとする人、そしてかれらに身を向け、さまざまな仕方で支援の手を差しのべることを自らの職務としている人、その誰もが、誕生と死との〈あいだ〉を生きていることに変わりはありません。その〈あいだ〉に立ち現れるさまざまな思惟が相互に交わり合うことによって、私たち自身が死に向き合う姿勢をあらためて吟味する機会となることを祈っています。

参加者・発表者・座長へのお願い

■ 参加者へのお願い

1. 参加登録について

大会参加費は会員・非会員とも当日 4,000 円です。10 月 14 日（金）までに**事前申込で納金された会員は 3,000 円**です。学生（会員・非会員）は**学生証の提示により 1,000 円**になります。参加者は、**研究棟 1 階・学術情報館横の受付で参加登録をしてください**。なお、特別講演、シンポジウムのみ参加（非会員）は 1,000 円です。

2. ネームカードについて

ネームカードは、**参加費の領収書**を兼ねています。登録時にお渡しするネームカードに**所属とお名前**をご記入の上、大会期間中は必ずご着用ください。ネームカードがないと会場にお入りいただけません。

3. 年会費について

年会費（6,000 円）未納の会員は、参加登録時に併せて年会費もお納めください。入会も受け付けています。

4. 昼食について

お弁当は事前にお申し込みの方のみに、両日とも午前 11 時以降に会員控室（研究棟 3 階 303 講義室）にて配布いたします。食事は第 1～3 発表会場（研究棟 3 階 304、306、307 講義室）、会員控室、カフェテリア（研究棟地下 1 階）にてお召し上がりください。

会場周辺にはほとんどレストラン等はありませんので、お弁当のご予約をお願いします。コンビニは大学正門前（バス停前）にあります。

5. 懇親会について

懇親会費は 5,000 円です。懇親会場は研究棟地階・カフェテリアです。

参加費	事前申込（会員、10/14 までの振込）	3,000 円
	当日申込（会員・非会員）	4,000 円
	学生	1,000 円
	特別講演・シンポジウムのみ	1,000 円
懇親会費		5,000 円

■ 発表者へのお願い

1. 発表時間について

- ①シンポジウムおよびワークショップの報告時間は、司会者の指示に従ってください。
- ②研究発表の時間配分は以下の通りです。次の発表者の迷惑にならないよう、絶対に持ち時間を超えないようにしてください。

発 表 : 20 分	質疑応答 : 10 分
------------	-------------

③ベルのタイミング

発表終了 3 分前	ベル 1 回
発表終了時	ベル 2 回
質疑応答終了時	ベル 3 回

← [このベルが鳴りましたら発表を終わってください。
言い足りなかったことは質疑応答でお願いします。]

2. 発表の資料等について

- ①発表の資料は、少なくとも各自 50 部をご用意ください(大会事務局ではコピーできかねます)。
- ②機材を使われる方は、ご自分で操作してください。
- ③PowerPoint をご使用の場合は、データを保存した USB をご持参の上、午前の部・午後の部がそれぞれ開始される前に、ご自分で発表会場のパソコンにデータを入れてください。会場にご用意するパソコンは Windows 7、アプリケーションは PowerPoint 2010 (第 3 会場のみ 2016 版) です。他のバージョンの PowerPoint で作成された場合は、予め 2010 版で動作状況をご確認ください。Mac をご使用の場合は、Mac 本体と、プロジェクタ・ケーブル (D-sub 15 ピン) に接続するアダプタ等を持参してください。
- ④他の機材 (ビデオ、書画カメラなど) を使用ご希望の方は事前にご連絡ください。
- ⑤その他ご不明な点がある場合は事前に大会事務局にご相談ください。

■ 座長へのお願い

円滑な大会運営のため、時間厳守をお願いします。研究発表が行われたことの確認のため、座長役が終了しましたら会場担当者までその旨お知らせください。また、座長からのコメントなどは最低限にさせていただき、できるかぎりフロアからの質問を促してください。討論のはじめに、発言者には氏名と任意ではあるが所属を述べていただくことをアナウンスしてください。

大会日程

11月5日(土) (大会1日目)

- 9:00～ 受付 (1階 学術情報館横、大会本部：研究棟3階302講義室)
- 9:40 開会式 (研究棟3階304講義室) 挨拶：大会長 丸橋 裕 (兵庫県立大学)
学会長 霜田 求 (京都女子大学)
- 9:45～12:00 研究発表 (研究棟3階)

	第1会場(304講義室)	第2会場(306講義室)	第3会場(307講義室)
9:45 ～ 10:15	座長：森下直貴 (浜松医科大学) 1-1-1 小池弘人 (小池統合医療クリニック) 統合医療の哲学的基礎の構築：多元主義とプラグマティズムからみる医療の新たな展開	座長：遠藤寿一 (岩手医科大学) 2-1-1 藤戸善伸 (札幌医科大学) 病と身体	(発表はありません)
10:20 ～ 10:50	1-1-2 西村敏樹 (用賀アーバンクリニック) 〈ミユトス産出機能〉の人間学的な基礎づけに向けて	2-1-2 杉原正子 (久里浜医療センター) 医師のプロフェッショナルリズム	
10:55 ～ 11:25	座長：服部健司 (群馬大学) 1-1-3 伊藤 均 (関西学院大学) ゲシュタルトクライスと生命の論理	座長：村岡 潔 (佛教大学) 2-1-3 中澤 武 (明海大学) 痛みの経験と医療の役割	
11:30 ～ 12:00	1-1-4 杉岡良彦 (札幌太田病院) 医学哲学と臨床医学：森田療法・ロゴセラピー・内観療法	座長：松山圭子 (青森公立大学) 2-1-4 加藤 穰 (石川県立看護大学) 大北全俊 (東北大学) 遠矢和希 (国立循環器病研究センター) Franziska Kasch (岡山大学) HIV / AIDS の検査に関する倫理的議論の変遷について：海外での文献調査をもとに	

- 12:00～13:50 昼食・休憩 (研究棟3階303講義室、地下1階カフェテリアをご利用ください)
- 12:10～13:40 評議員会 (研究棟地下1階 大会議室)

● 13:50～17:15 研究発表・ワークショップ（研究棟3階）

	第 1 会場(304 講義室)	第 2 会場(306 講義室)	第 3 会場(307 講義室)
13:50 ～ 14:20	座長：安藤泰至（鳥取大学） 1-1-5 松山健二（新潟刑務所医務課） 金谷光子（新潟医療福祉大学） 触法障がい者・触法高齢者の 福祉支援における Expert の 経験：支援者が持つ資質	座長：永田まなみ（熊本大学） 2-1-5 福田正道（兵庫県立大学） 看護師の立場から看護ケア の可能性について考える	座長：大北全俊（東北大学） 3-1-1 吉村理津子（京都女子大） 医療メデイエーションと倫 理コンサルテーションの協 働可能性の検討
14:25 ～ 14:55	1-1-6 屋良朝彦（長野県看護大学） 精神障害者支援における対 話の有効性に関する哲学的 考察	2-1-6 花井星奈 （兵庫県立がんセンター） 対話を通じて生じる病む人 と医療者との〈あいだ〉の変 化	座長：石田安実 （お茶の水女子大学） 3-1-2 村岡 潔（佛教大学） 医師—患者関係の水平化に 関する一考察
15:00 ～ 15:30	座長：日比野由利（金沢大学） 1-1-7 遠矢和希 （国立循環器病研究センター） 生殖補助医療技術再考：『臨 床研究』としての次世代生産	2-1-7 金谷光子（新潟医療福祉大学） 平山恵美子（中京学院大学） 西川薫（新潟医療福祉大学） 平井孝治（新潟医療福祉大学） 松山健二（新潟刑務所医務課） 応答する者の不在と根源的 不安：被虐待者の「不確かさ」 と「くつろげなさ」	座長：船木 祝（札幌医科大学） 3-1-3 宮嶋俊一（北海道大学） ナラティブによる自己の更 新について
15:35 ～ 16:05	1-1-8 近澤範子（かがやき神戸） 不妊治療に伴う不安を持ち 堪えた 1 年間に培われた対 処力と継続的な相談面接の 意義：1 事例の「語り」の記 録からの考察	座長：岩江荘介（宮崎大学） 2-1-8 山本洋一（大阪大学） 日本の研究倫理審査委員会 は機能しているのか？：日 本の被験者保護の課題を考 える	ワークショップ (15:35～17:05) 自閉症スペクトラム当事者 (との) 研究をめぐって 司 会：清水光恵 （伊丹健康福祉事務所） 報告者：神戸太郎（当事者） 伊東明咲（当事者） 清水光恵 （伊丹健康福祉事務所）
16:10 ～ 16:40	座長：松田純（静岡大学） 1-1-9 石井哲也（北海道大学） 生殖細胞系列のゲノム改変 が意味するもの	2-1-9 瀬戸山 晃一 （京都府立医科大学） 臨床研究とパターンリズム： 被験者の同意取得における パターンリスティックな諸 制約	
16:45 ～ 17:15	1-1-10 入澤仁美（兵庫医科大学） 後藤章暢（兵庫医科大学） 《Deaf Culture》のための産 み分け論争に関する倫理的ジ レンマについて	2-1-10 田代志門 （国立がん研究センター） 病院組織において「革新的治 療」をどう扱うべきか：特定 機能病院の承認要件見直し が「倫理委員会」に与える影 響	

● 17:40～19:30 懇親会（研究棟地下 1 階カフェテリア）

11月6日(日) (大会2日目)

- 8:30～ 受付
- 9:00～10:40 研究発表（研究棟3階）

	第1会場(304 講義室)	第2会場(306 講義室)	第3会場(307 講義室)
9:00 ～ 9:30	座長：松島哲久（大阪薬科大学） [1-2-1] 川端美季（立命館大学） 近代日本の国民道徳論における「潔白性」についての考察	座長：有馬 斉（横浜市立大学） [2-2-1] 墨 龍雄 （スピリチュアルケアカウンセリング） 尊厳死と安楽死	（発表はありません）
9:35 ～ 10:05	[1-2-2] 松山圭子（青森公立大学） 育薬と知識不全	[2-2-2] 荒川迪生（荒川医院） 入澤仁美（兵庫医科大学） 終末期医療におけるコンコ ーダンス医療の推進	
10:10 ～ 10:40	座長：前田義郎（産業医科大学） [1-2-3] 峯村優一 （ニューヨーク州立大学） エリック・オルソンの動物主 義における人間の生存に関 する考察	座長：堀田義太郎 （東京理科大学） [2-2-3] 森 禎徳（東邦大学） 費用対効果と生命の価値	

- 11:00～12:00 総会（第1会場 研究棟3階 304 講義室）
- 12:00～13:00 昼食・休憩（研究棟3階 303 講義室、カフェテリアをご利用ください）
- 13:00～14:15 特別講演（講堂）
「こと」としての生と死
木村 敏（京都大学名誉教授、河合文化教育研究所長、京都博愛会病院顧問）
司会： 霜田 求（学会長、京都女子大学）
- 14:30～17:00 シンポジウム（講堂）
「誕生と死との〈あいだ〉を生きる人間」
生田 孝（聖隷浜松病院）：実体としての〈生と死〉、観念としての〈生と死〉
片田範子（兵庫県立大学）：こどもが立ち向かうやまいと障がいと大人の世界
岸見一郎（哲学者）：生の直下で死と向き合う
小西達也（武蔵野大学）：終末期スピリチュアルケアの3つの〈あいだ〉
司会：丸橋 裕（兵庫県立大学）
- 17:05 閉会式（講堂） 挨拶 大会長 丸橋 裕

11月4日（金） （大会前日の日程）

- 12:30～15:00 調整会議（研究棟地下1階 大会議室）
- 15:00～16:50 理事会 （研究棟地下1階 大会議室）

「大会プレ企画」（11月4日（金）17:00～19:00 研究棟地下1階 大会議室）

第7回医哲 café（国内学術交流委員会主催）

総合テーマ：「臨床倫理・研究倫理コンサルテーション」を考える

— 国内での体制整備をどのように進めるか —

話題提供講演：岩江荘介（宮崎大学医学部附属病院 臨床研究支援センター研究倫理
支援部門長・准教授）

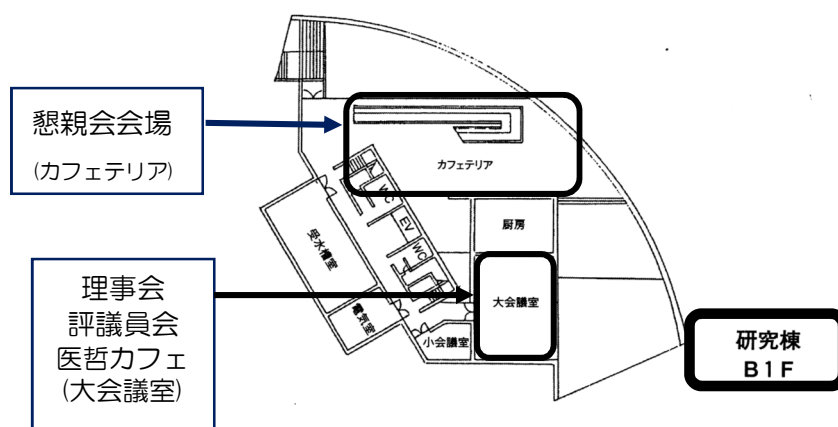
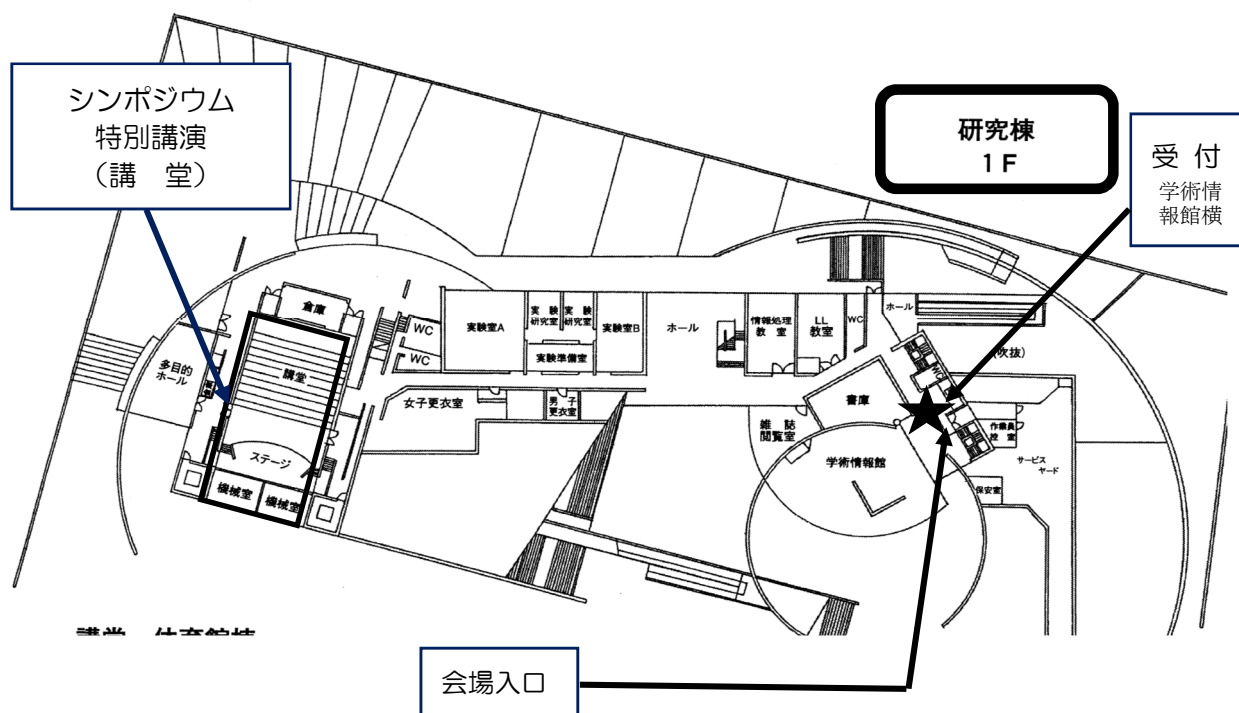
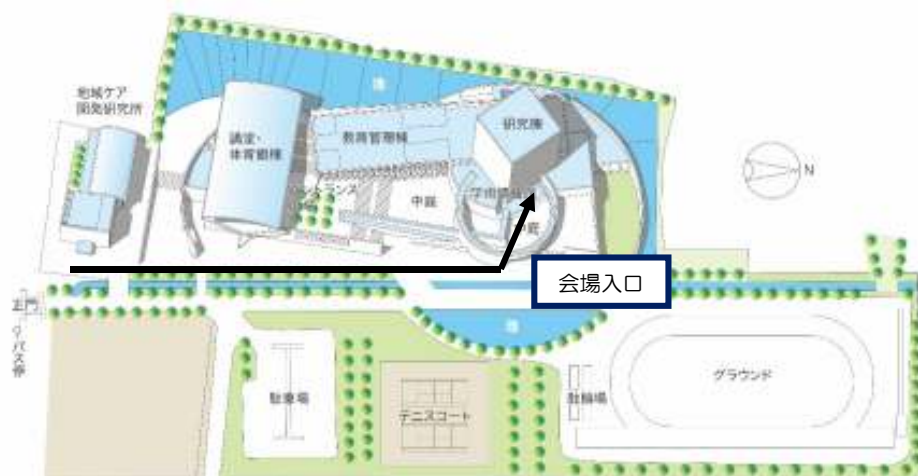
「臨床研究法案」について

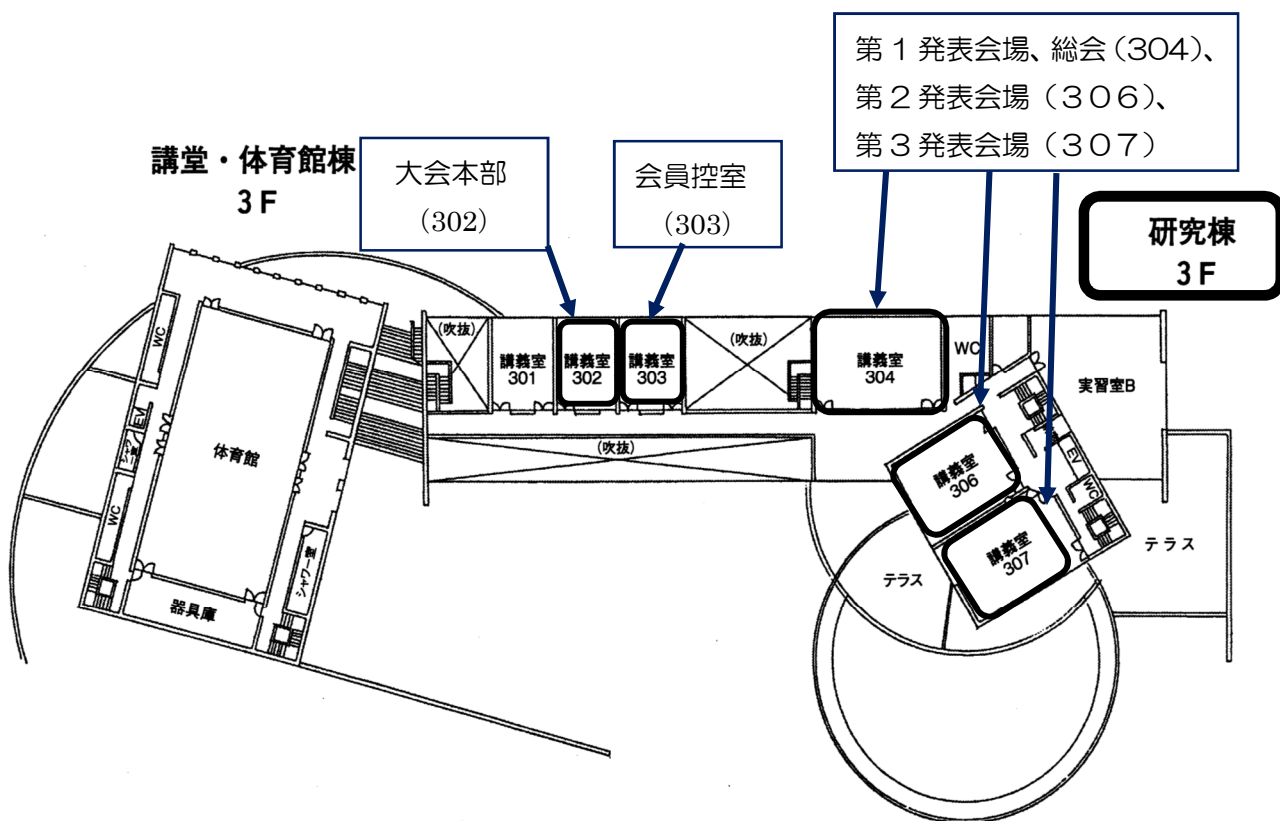
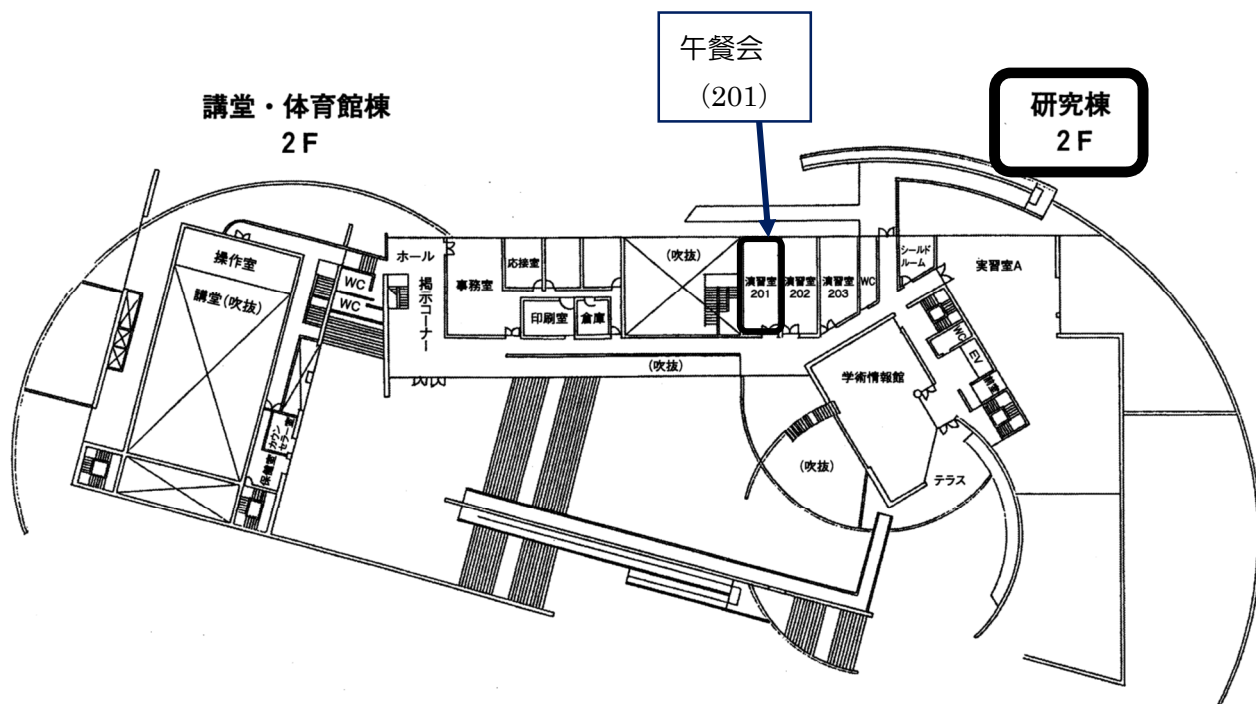
司 会：板井孝彦郎（宮崎大学）

同封の別紙をご覧ください。

会場案内

正門から研究棟へお進みください。





アクセス

〒673-8588

兵庫県明石市北王子町 13-71

兵庫県立大学明石看護キャンパス

事務局：丸橋研究室

TEL.(078)925-9411

■JR、山陽電鉄 明石駅下車

神姫バス乗車

明石駅～がんセンター



21系統（北5番のりば）

明石駅⇒市民病院経由⇒がんセンター（約10分）

22、23系統（北4番のりば）

明石駅⇒がんセンター（約6分）

■JR、山陽新幹線 西明石駅下車

神姫バス乗車

西明石駅～がんセンター

22系統（1番のりば）

西明石駅⇒がんセンター（約18分）

*30分毎に運行しています。

神姫バス時刻表

がんセンター 停留所

平 日				土 曜 日				日 祝 日					
行先	王座 合～ 松受2	リハビリセンタ	大通町～明石駅	がん セン ター21	行先	王座合～松の 内～西明石駅	リハ ビリ セン ター3	大通町～明石駅	がん セン ター21	行先	王座合～松の内～ 西明石駅	大通町～明石駅	がんセ ンター ～大連
5		23.82	21.25	21	5	22	23	21	21	5	22	21	21
6			55		6					6			
7	30	40.50	10.25.40.45.55		7	30		10.30.50		7		10.30.50	
8	50	00.10.20.30.40	05.15.25.35.45.55		8	20.50	45	10.30.50		8	20.50	10.30.50	
9	20.50	40	10.30	55	9	20.50	45	10.30	55	9	20.50	10.30	55
10	20.50	40	10.30	55	10	20.50	45	10.30	55	10	20.50	10.30	55
11	20.50	40	10.30	55	11	20.50	45	10.30	55	11	20.50	10.30	55
12	20.50	30	10.30	55	12	20.50	45	10.30	55	12	20.50	10.30	55
13	20.50	30	10.30	55	13	20.50		10.30	55	13	20.50	10.30	55
14	20.50	30			14	20.50				14	20.50		
15	20.50				15	20.50				15	20.50		
16	20.50				16	20.50				16	20.50		
17	20.50				17	20.50				17	20.50		
18	20.50				18	20.50				18	20.50		
19	20				19					19			
20	20				20					20			
21	20				21					21			
22					22					22			
23					23					23			
0					0					0			
1					1					1			

リハビリセンター経由
西明石駅行先
明石市中区病院経由

(9022004-01)

※8月13日～15日は日祝*1で運行。日祝*2は東区車庫(24分)または西明石駅(25分)で運行。急行等により到着時刻が異なります。 ※急行等により多少遅れることがあります。 <http://www.shinkibuss.co.jp>